



医療と福祉

令和7年度 第1回介護保険サービス事業者連絡会

医療法人ミネルワ会
愛媛県松山市

働きやすい職場環境づくりを目指す 介護DXの取組み

～152枚の気づきシートが導いた介護DX～

令和7年8月21日(木)22日(金)

老人保健施設ミネルワ

眞鍋 達雄



本日本日お伝えしたいこと

	法人が目指した介護DX(P3-P5)
	152枚の気づきシートが導いた介護DX(P6-P13)
	スタートラインに立った2025年(P14-P16)

お伝えしたいこと：*****



法人が目指した介護DX

老人保健施設ミネルワがイメージする介護DX

医療法人ミネルワ会
愛媛県松山市

医療と福祉

平成7年6月開設 定員100名（2階50名/3階50名）

①施設類型超強化型老健	指標75
②平均稼働率	95.8%
③在宅復帰復帰率	62.9%
④ベッド回転率	19.6%
⑤1ヶ月当り平均入退所件数	92件
⑥入所者平均年齢	87.8歳
⑦入所者平均介護度	要介護3.1
⑧ターミナル死亡件数	20件
⑨生産性向上推進体制加算 I	取得(R7.1)
⑩介護職離職率	5.9%
⑪介護職1ヶ月の総業務時間	161.7時間
⑫介護職1ヶ月の残業時間	2.2時間
⑬介護職年間有休取得日数	9.3日
⑭介護職平均勤務年数	12.0年

財団法人介護労働安定センター 理事長表彰『優秀賞』受賞

財団法人介護労働安定センター理事長表彰『優秀賞』を老人保健施設ミネルワが受賞しました。この表彰は介護労働者の福祉の増進と、魅力ある職場づくりを目指し、地域に貢献・評価されている事業所等、他の事業所の模範となる事業所に対し、全国47都道府県各支部の推薦により行われ、今回頂いた「優秀賞」は「最優秀賞」(1社)に次ぐもので、全国で当施設を含む6社が表彰されています。

今回の受賞理由として、

- ・ICT機器導入による大幅なペーパーレス、記録の削減等の「生産性向上」
- ・多機能ベッド(スリーモーター式)全面切替えによる職員の腰痛予防
- ・インカム、眠りスキャン等導入による情報共有、情報管理
- ・デジタル中核人材養成研修等外部研修参加によるIT人材の育成
- ・「愛媛県版モデル事業所」選定

が挙げられており約4年間にわたり我々が行ってきた一連の取り組みが評価されたものと嬉しく思っております。今回の受賞を励みに、より良い施設づくりを行うとともに、地域包括ケアシステム構築に向け更に進化していきたいと思っております。



YOUTUBE QRコード

今回の表彰式の模様と、システムのデモ、職員のインタビュー等が、あいテレビのニュース番組で取り上げられました。YOUTUBEでも視聴できますので、是非ともご覧ください。



超強化型老健を維持し、生産性向上推進体制加算(I)を取得。令和7年1月、全国47都道府県介護労働安定センター理事長表彰『優秀賞』を受賞。

業務改善ガイドラインの取組みが導く介護DX

<p>① 職場環境の整備</p> <p>取組前 → 取組後</p> <p>継続中</p>	<p>② 業務の明確化と役割分担 (1) 業務全体の流れを再構築</p> <p>介護職の業務が明確化されていない → 業務を明確化し、適切な役割分担を行いケアの質を向上</p> <p>令和7年度 伴走支援受講中</p>	<p>② 業務の明確化と役割分担 (2) テクノロジーの活用</p> <p>職員の心理的負担が大きい → 職員の心理的負担を軽減</p> <p>令和4年度 眠りSCAN</p>	<p>③ 手順書の作成</p> <p>職員によって異なる申し送り → 申し送りを標準化</p> <p>令和5年度 多機能ベッド</p>
<p>④ 記録・報告様式の工夫</p> <p>帳票に何度も転記 → タブレット端末やスマートフォンによるデータ入力（音声入力含む）とデータ共有</p> <p>令和3年度 ICT機器</p>	<p>⑤ 情報共有の工夫</p> <p>活動している職員に対してそれぞれ指示 → インカムを利用したタイムリーな情報共有</p> <p>令和6年度 インカム</p>	<p>⑥ OJTの仕組みづくり</p> <p>職員の教え方にブレがある → 教育内容と指導方法を統一</p> <p>継続中</p>	<p>⑦ 理念・行動指針の徹底</p> <p>イレギュラーな事態が起こると職員が自身で判断できない → 組織の理念や行動指針に基づいた自律的な行動</p> <p>継続中</p>

令和3年度④の記録工夫でICT機器導入、令和4年度②(2)の役割分担で眠りSCAN導入、令和5年度③の手順書作成で多機能ベッド導入、令和6年度⑤の情報共有でインカム導入、整備・OJT・理念は継続中。令和7年度②(1)の業務の明確化について伴走支援受講中。



法人が目指した介護DX

法人内全事業所連携が導く介護DX

医療法人ミネルワ会
愛媛県松山市

医療と福祉



医療・介護連携サポートサービス『メルタス』を使用



松山市救急指定病院
渡辺病院
昭和54年10月6日～



グループホーム
平成26年3月16日～



デイサービスセンター
平成19年7月1日～



老人保健施設
通所リハビリテーション
平成7年6月1日～



訪問看護ステーション
平成7年6月1日～



居宅介護支援事業所
平成11年10月1日～

多職種間の情報共有

医療・介護連携サポートサービス『メルタス』が、各事業所で入力したデータを集約し、法人内全事業所が情報共有するシステムである。利用者情報・報告・連絡・相談・申し送り・会議室カンファレンス・掲示板、回覧板・会議室等、業務中枢機能である。



152枚の気づきシートが導いた介護DX

医療法人ミネルワ会
愛媛県松山市

152枚の気づきシートが導いた介護DXの取組み

医療と福祉

152枚の気づきシート

気づきシート

事業所名: _____ 部署・担当: _____ 氏名: _____

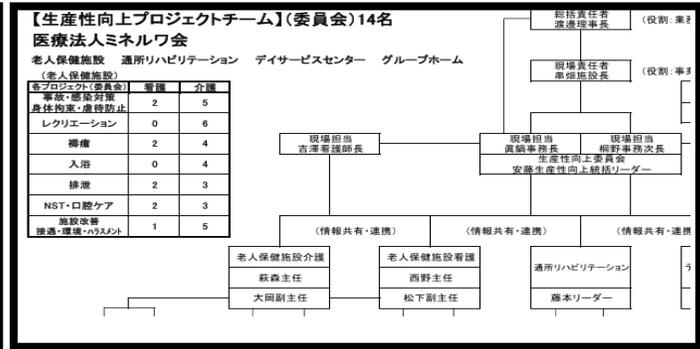
仕事で日ごろ感じている疑問や、解決したいこと等、あなたが気づいたことを自由に記述してください
(※ 事業所の運営、業務の仕方、ルール、介護のやりかた、勤務形態、シフト、人間関係など、どんなことでもOK)

腰痛対策ありませんか

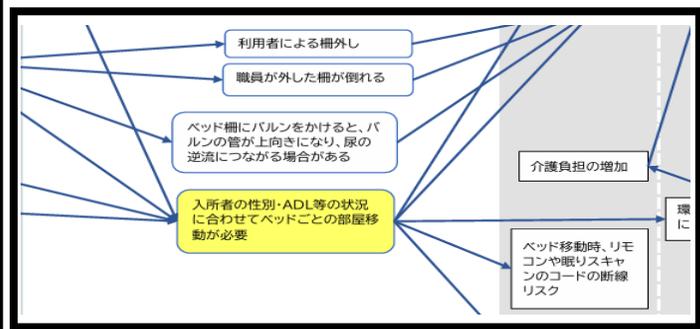
情報共有・連携		業務分担	
Ns対応での食事介助・口腔ケアの利用者について、臥床時間をNsに確認するために探さないといけない場合があり、業務の効率が悪い→臥床時間を記入するボードを設置、記入してもらう	Drと多職種でも合同カンファの開始時間が不確定の為、業務の配分が難しい。それぞれに連絡しなければならぬ看護師長の時間も取れれている→Dr. 到着次第、カンファを開始するようにする	認知症で暴力行為のある男性利用者だと女性職員で対応できなかったり、急に立ち上がった車椅子の自走で徘徊しようとする利用者が同時に数名動きだしたりすると対応できない。配置人数を増やしても職員の負担が大きく、転倒事故も増えている。→Nsも協力して見守りできると介護の負担軽減になる。SSでずっと記録している状況では難しいのかも。	見守り・付き添いが必要な利用者が増えているため、看護・介護ともに人員確保が必要だと思う。介護は、入浴準備やおしほり巻き、ごみ集めや清掃等をしてくれるパートが居ると、正職員が利用者に関わる時間が増える。
入浴前に可否をNsに確認しているが、バイタル測定が終わってない場合、合間に確認しなければならず、できればNsから伝えてもらえると非常に助かる。(人によっては伝えてく	ドクターカンファの時間が曖昧。リハビリの途中で抜けないといけない時がある→開始時間を決めてほしい	業務に対する意識の差が大きく、マイペースな人が居る→業務分担でない部分があるので明確化する	

接遇	ICT	設備関係
言葉遣いや利用者への対応が雑になっている。(ナースコール対応も) 感謝や思いやりの気持ち、心にゆとりがないのでは？	コロナ禍以降、利用者や家族を繋ぐものがない。夏祭りでの家族の涙が辛さを物語っている→お知らせする方法の検討	物を大切に扱う気持ちを持ってほしい。NC、PHS、体温計、車椅子、ベッド等→ケースによっては自己負担にする規則も必要では？
一部で仕事でこそと話をしており、通りかかると逃げるように去っていく。周りに聞こえるはずの話を仕事にするのはどうかと思う。そのような態度が雰囲気壊すと思う。	ICTを活用し、会議室でのカンファレンスをしているが、逆にスタッフ間のコミュニケーションが不足し、どう伝わっているかわからない。→ICTの活用についてスタッフの共有方法を考える	3F食堂にある以前のテーブルを新しくしたい。(大きくてスペースを取る) 統一感も出る。
		2F東棟トイレを使用していない→おむつ、保温パック、ごみ箱を設置し、すぐ

プロジェクトチーム



因果関係図



職員から提出された152枚の気づきシートを9項目に分類後、実施体制プロジェクトチームを立ち上げ・役割分担し、問題点・課題を洗い出す。因果関係図より課題の原因分析をし、課題解決策を具体化する。計画を実行し、評価・改善後、小さな新しい課題に再度取組む。



152枚の気づきシートが導いた介護DX

医療法人ミネルワ会
愛媛県松山市

医療と福祉

ICT機器導入による『紙消費量』55,206枚削減目標の結果

ICT機器導入前(3年間目標)			令和3年度 導入	ICT機器導入後		
年間使用 66,788枚	削減枚数目標	削減目標%		3年目の結果	削減枚数結果	削減結果%
	55,206	83%	【経緯】 地域包括 ケアシステム 地域のため 法人内包括 ケアシステム ➤➤➤		56,340	84%
1年目(令和4年度)	35,735	54%		1年目(令和4年度)	31,600	47%
2年目(令和5年度)	47,021	70%		2年目(令和5年度)	48,900	73%
3年目(令和6年度)	55,206	83%		3年目(令和6年度)	56,340	84%

年間使用量66,788枚を3年間で83%55,206枚削減目標とした取組の結果、削減目標の84%56,340枚削減する。

ICT導入：業務時間

ICT機器導入による『書類作成業務』13,200時間削減目標の結果

年間業務17,803時間を3年間で75%13,200時間削減目標とした取組の結果、削減目標の77%13,630時間削減する。



152枚の気づきシートが導いた介護DX

医療法人ミネルワ会
愛媛県松山市

眠りSCAN導入による『対応・処理時間』54分ゆとり時間確保目標の結果

医療と福祉

眠りSCAN導入前(3年間目標)			令和4年度 導入	眠りSCAN導入後		
①～⑤ 巡回・処理時間 240分/日	確保時間目標/分	確保目標%		3年目の結果	確保時間結果/分	確保結果%
	72	30%	【経緯】 地域包括 ケアシステム 老健内包括 ケアシステム  		未	未
1年目(令和5年度)	36	15%		1年目(令和5年度)	36	15%
2年目(令和6年度)	54	23%		2年目(令和6年度)	64	27%
3年目(令和7年度)	72	30%	3年目(令和7年度)	未	未	

巡回・処理時間(240分/日)を2年目で23%(186分/日)1日54分確保を目標とした結果、ゆとり確保目標の27%1日64分確保する。



152枚の気づきシートが導いた介護DX

多機能ベッド導入による課題4項目の職員評価

医療法人ミネルワ会
愛媛県松山市

医療と福祉

多機能ベッド導入前

令和5年度
導入

多機能ベッド導入後

- 【予防】** ①ベッド移動時のコード切断：5件
②利用者が柵外し：3件 ③柵が倒れ事故現認：4件
④フットボード越え：2件 ⑤誤嚥リスク：不安大

- 【在宅復帰促進】** ①自宅のベッド環境：作れてない
②高さ・足上げ・背もたれ調整：できない
③在宅復帰者数：9.1名（短期集中リハ90日間）

- 【環境整備・緊急時早く移動】** ①掃除がしづらい
②急変時の移動に時間がかかる：見守りが手薄
③ベッドごとの移動が困難：4人でかかえ移動

- 【移動・移乗・介助が楽】** ①重くて身体的負担大
②居室で食事ができない ③上下できず腰痛大

【経緯】
生産性向上
モデル事業所
伴走支援業
務効率化
手順書作成



- 【予防】** ①ベッド移動時のコード切断：1件
②利用者が柵外し：0件 ③柵が倒れ事故現認：0件
④フットボード越え：0件 ⑤誤嚥リスク：安心大

- 【在宅復帰促進】** ①自宅のベッド環境：作れている
②高さ・足上げ・背もたれ調整：自由に可能
③在宅復帰者数：11.2名（短期集中リハ90日間）

- 【環境整備・緊急時早く移動】** ①掃除が早くできる
②急変時の移動に時間がかかる：簡単に早く移動可
③ベッドごとの移動が困難：2人で押して移動

- 【移動・移乗・介助が楽】** ①身体的負担が激減
②居室で食事対応可能 ③多機能で腰痛対策となる

課題とした①予防②在宅復帰促進③環境整備④移動・移乗・介助が楽の4項目に対し**職員の92%が評価**。負担軽減・食事対応・誤嚥リスクに対し**職員の100%が評価**。



152枚の気づきシートが導いた介護DX

医療と福祉

インカム導入における課題『医師回診』の導入前後

医療法人ミネルワ会
愛媛県松山市

インカム導入前

参加多職種：①医師 ②看護師 ③介護士

④理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

⑤管理栄養士 ⑥ケアマネジャー ⑦相談員

回診時間は平均60分である（週3回～4回）

申し送りで全職員に情報共有される

令和6年度
導入

【経緯】
生産性向上
デジタル事業所



インカム導入後

参加多職種：①医師 ②看護師

③～⑦の専門職は参加しない

移動の必要がない

多職種は各々の仕事に取り組みながら参加する

全職員がリアルタイムで情報共有できる

回診に参加していた多職種が、60分間を各々の業務を優先しながら、リアルタイムで情報共有し、回診に参加できるようになる。



152枚の気づきシートが導いた介護DX

インカム導入における課題①～⑥の導入後

医療法人ミネルワ会
愛媛県松山市

医療と福祉

導入前の課題	インカム導入後
①入所多職種カンファレンス	カンファレンス開始までの時間を 5分削減 することにより、 月4時間のゆとり時間 が生まれ、リアルタイムで意見交換もできる！
②入浴時	1日一人当たり処置対応までの 2分間の削減 により、 月5.6時間のゆとり時間 が生まれ、利用者を待たせることなく迅速な対応ができる！
③事故予防	眠りSCANとインカムの連動により、 ヒヤリハットは増加 するが、職員同士の迅速な対応により、 事故予防に対する意識 が高まる！
④夜間の看護師と介護士連携	職員間の連携の高まりにより、緊急時にワンプッシュで連絡できる 安心感 は高く、情報共有で 迅速な救急対応 が可能となる！
⑤看護と介護の申し送り	多職種 が各々の業務を優先しながら 情報の共有 ができ、医療面で看護の申し送りを聞くことで事前に利用者の状態を把握できる！
⑥ご家族様面会対応	ご家族様の面会対応が スムーズ になり、ハプニングにも臨機応変に対応し、 リアルタイム で面会状況を把握できるようになる！

スピード感をプラスしたワンランク上の情報共有システム「インカム」を導入することにより**何事もリアルタイム**で施設全体がチームとして動き出し、**多職種間で情報共有が促進**され、更に業務効率化が加速する。



152枚の気づきシートが導いた生産性向上推進体制加算(Ⅰ)取得

生産性向上推進体制加算(Ⅱ)

令和7年1月より算定

生産性向上推進体制加算(Ⅰ)

単位	10単位/月
算定要件	生産性向上委員会にて4項目を検討し、実施状況を定期的に確認すること
	定められたテクノロジー3種類のうち1種類以上導入していること
	生産性向上に関する評価項目1~3を事業年度ごとに厚生労働省に報告する



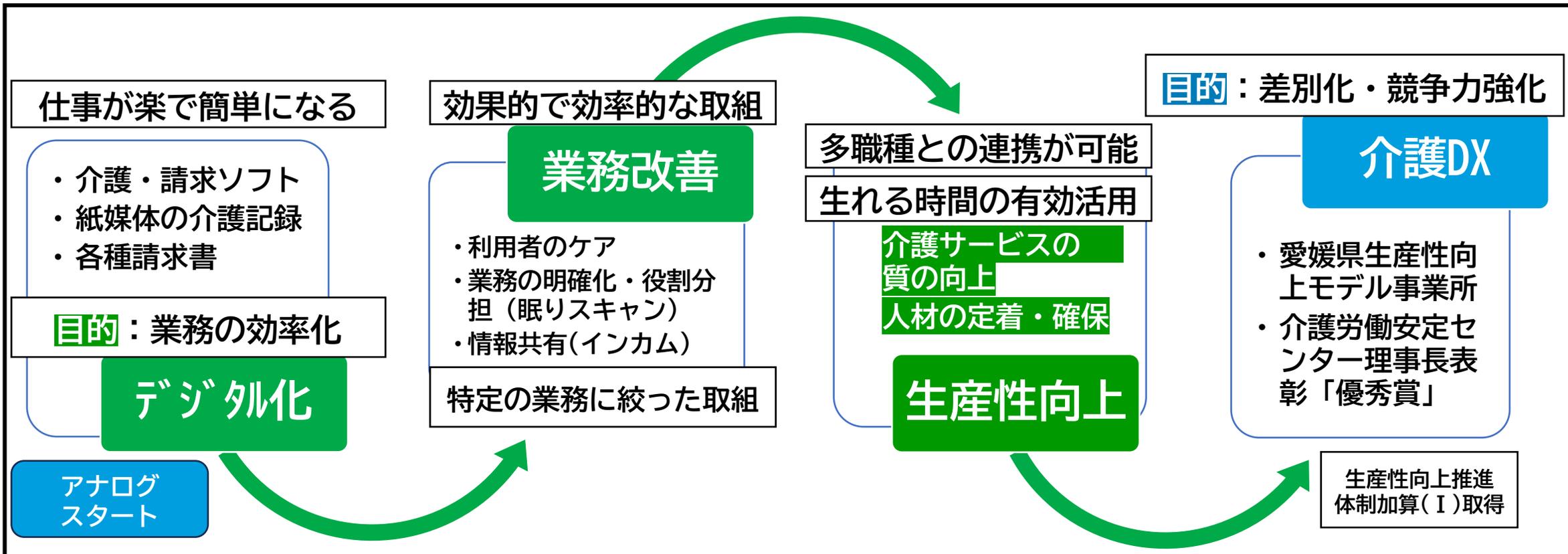
単位	100単位/月
算定要件	生産性向上委員会にて4項目を検討し、実施状況を定期的に確認すること
	定められたテクノロジー3種類すべてを導入していること
	職員間の適切な役割分担(介護助手の活用等)の取組等を行っていること
	生産性向上に関する評価項目1~5を事業年度ごとに厚生労働省に報告する
	提出データ等より業務改善の取組による成果が確認されていること

152枚の気づきシートの課題解決に向け介護DXに取り組んだ結果、生産性向上推進加算(Ⅰ)取得となる。全国老健協令和6年12月調査(Ⅰ)取得4.7% 全国老施協令和6年6月調査(Ⅰ)取得4.0% 申請時松山市内では100床施設では初。



152枚の気づきシートが導いた当施設のイメージする介護DX

152枚の気づきシートから見える現場の課題(問題把握と原因分析) ⇒ 心理的安全性の高い環境づくり



アナログからデジタル化、業務改善の効率的な取組により介護サービスの質の向上・人材の定着確保を目指す生産性向上。差別化・競争力強化を目指す介護DX。業務改善の繰り返しが介護DXに導き、介護DXが更に業務改善をアップデートさせる。



スタートラインに立った2025年

介護福祉士が直接介護に専念できる職場環境づくり

医療法人ミネルワ会
愛媛県松山市

医療と福祉

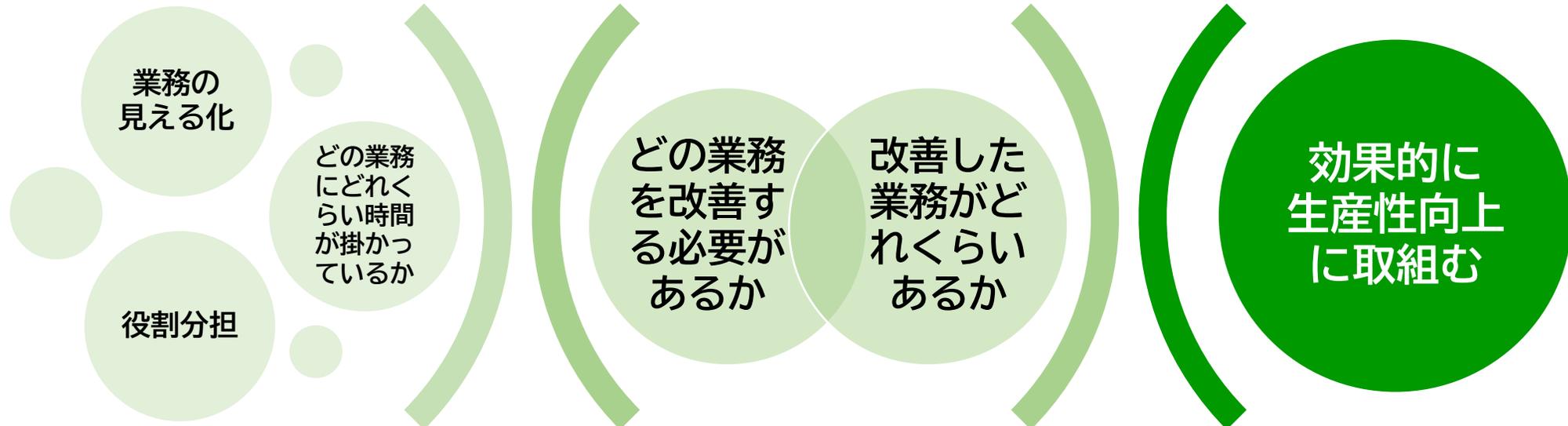
直接介護 *1	間接業務	勤務時間	類型	割合
①移動・移乗・体位交換	①巡回・移動	日中	直接介護	54.1%
②排泄介助・支援	②記録・文書作成・連絡調整等(※4)		間接業務	32.4%
③入浴・整容・更衣	③利用者のアセスメント・情報収集・介護計画の作成・見直し		休息 待機 その他	11.9%
④利用者とのコミュニケーション	④見守り機器の使用・確認		余裕時間	1.6%
⑤日常生活自立支援(※2)	⑤介護ロボット・ICT機器の準備・調整・片付け(※5)	夜間	直接介護	48.9%
⑥行動上の問題への対応(※3)	⑥他の職員に対する指導・教育(※6)		間接業務	33.2%
⑦食事支援	⑦食事・おやつの配膳・下膳等		休息 待機 その他	12.0%
⑧機能訓練・リハビリテーション・医療的処置	⑧入浴業務の準備等		余裕時間	5.9%
⑨その他の直接介護	⑨リネン交換・ベッドメイク ⑩居室清掃・片付け			
*1 見守りによる介助を含む	⑪消毒などの感染症対応 ⑫その他の間接業務(※7)			
*2 入眠起床支援、訴えの把握、日常生活の支援	*5 機器の充電、セッティング、設定の確認・見直し、片付け作業等			
*3 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等	*6 ケアの内容や方法に関する指導、OJT等			
*4 利用者に関する記録等の作成、勤務表等の作成、申し送り、職員間の連絡調整、文書検索等	*7 レクリエーションの準備等			

厚生労働省の直接介護と間接業務の24項目を基本に、業務を標準化・見える化する。業務の明確化・役割分担により間接業務を効率化・削減し、間接業務12項目の一部を介護助手が担う。介護福祉士が直接介護に専念できる職場環境を整えることが、介護サービスの質の向上に効果的であり、更に介護DXを加速させる。



当施設がイメージする介護DXに取り組むはじめての一步

現場の課題を**見える化** → 現場の業務量を**分析** → **タイムスタディ**が重要



間接業務を減らす → **直接介護**の時間を増やす → **介護DX**の取組み

介護DXに取り組むはじめての一步は現場の課題を**見える化**し、現場の業務量を**分析**することにより、効果的に生産性向上に取り組むことができる。『**タイムスタディ**』が『**時間を生む介護DXの取組み**』のはじまりである。



介護DXスタートラインに立った今、次のステップへ

導入費用
補助率
59.1%

- ・総額：33,715(千)円
- ・補助金：19,919(千)円
- ・自己資金：13,796(千)円

- ①令和3年度
ICT機器導入
- ②令和4年度
見守り機器導入
- ③令和5年度
多機能ベッド導入
- ④令和6年度
インカム導入

介護DX

超強化型老人保健施設
愛媛県生産性向上モデル事業所
生産性向上推進体制加算1取得
介護労働安定センター理事長表彰「優秀賞」

差別化・競争力

アップデート



令和7年度 業務改善計画

- コミュニケーション ・メルタファミリー（利用者/ご家族）
- 見守り ・眠りSCANアイ（4部屋カメラ）
- タイムステイ ・ハカルト（業務時間の見える化）
- IT人材育成 ・デジタル中核人材養成研修参加
- ケアプラン ・データ連携システム6月～開始

施設全システム紹介フロア

生産性向上個別指導
介護DX人材育成
・5月28日～12月介護労働安定センター愛媛支部

ノーリフティングケア
・5月14日・推進事業所指定
8月～翌年2月研修

導入機器をアップデートしながらデータ活用することで、**繰り返す業務改善**が介護DXに導き、介護DXが更に業務改善をアップデートさせる。**チームケア**の考えを基本に、**介護DX人材育成**に取組み、働きやすい職場環境づくりを目指す。



医療と福祉

御礼

ご清聴ありがとうございました

医療法人ミネルワ会
愛媛県松山市



医療法人ミネルワ会